

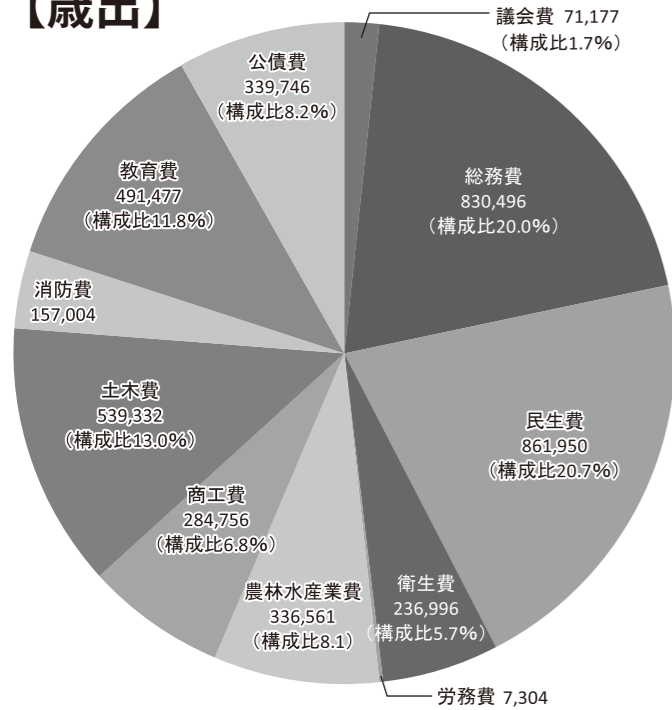
9月定例議会（9月8日～14日）

育樹祭・貸工場設置事業など動く町づくりへ

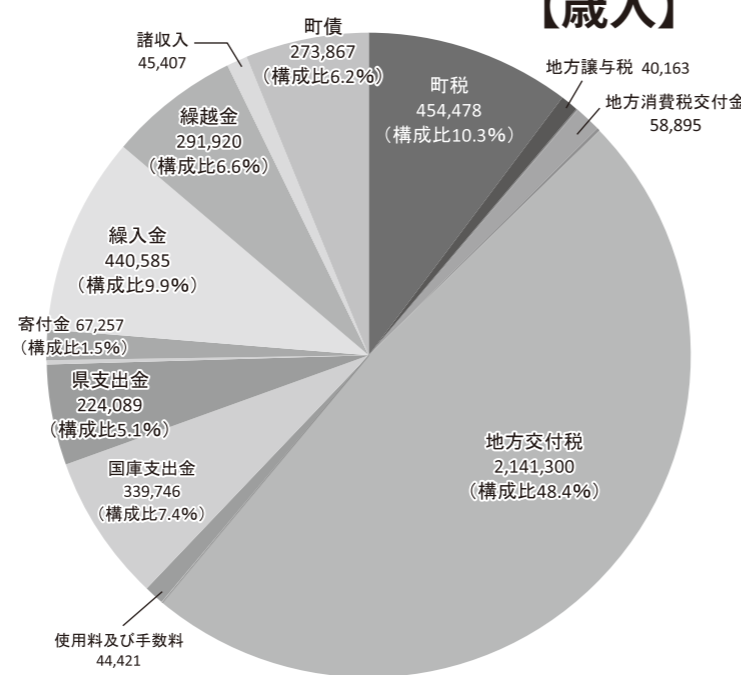
——平成26年度決算・平成27年度補正予算可決で終了——

平成26年度 一般会計歳入・歳出 (千円)

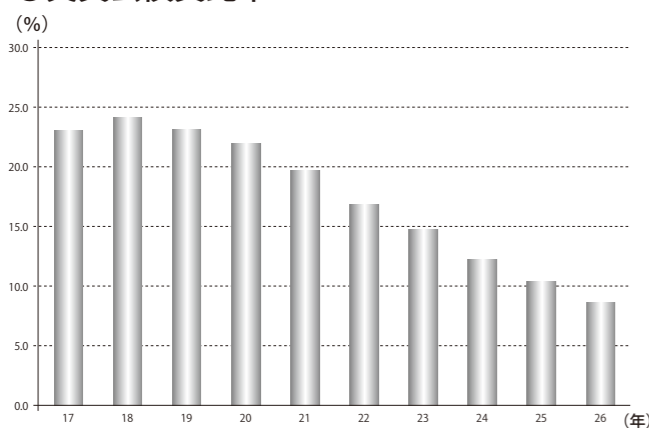
【歳出】



【歳入】

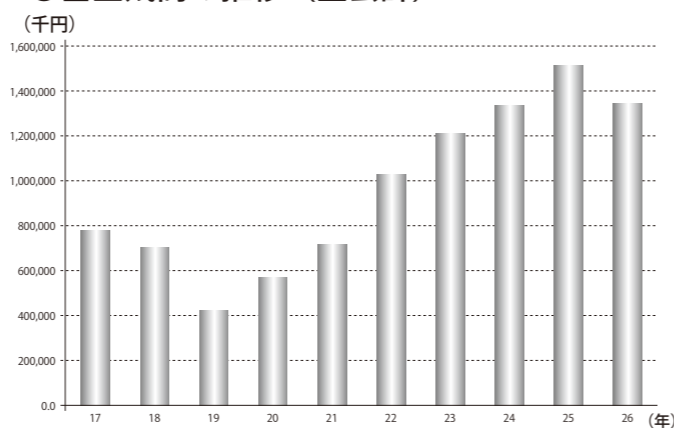


●実質公債費比率



平成19年に国で「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を定め、一般会計だけでなく特別会計、一部事務組合、債務負担など全ての借金の返済額が標準財政規模に対してどの程度あるかを示す比率である。18%以上の場合、県の許可がないと起債（借金）ができなく、25%以上の場合は起債が制限される。金山町は、平成19年度決算で23.1%と県内で高いほうから3番目だったが、起債の抑制、高利率起債の借り換えなど、公債費負担適正化計画に取り組んだ結果、年々比率が改善され、県内平均と比較しても良好な水準となっている。

●基金残高の推移（全会計）



町の貯金にあたる基金残高の推移は、平成19年度に病院の累積赤字を解消するため基金を取り崩して病院会計へ繰出したことから19年度末の全会計の基金残高は4億2383万円まで減少した。その後、交付税の増額もあり財政の健全化のため基金へ積み増しを行い年々増加している。全国育樹祭関連経費等に充てるため26年度に基金を通常より多く取り崩し減少したが、27年度9月補正予算で財政運営基金などに積立したので27年度末には25年度の水準まで回復する予定である。

決算議会と言われる9月定例会が行われ、平成26年度一般会計・特別会計7議案、平成27年度一般会計・特別会計補正予算他9議案が可決・承認されました。

平成26年度決算では、各会計とも黒字決算となっていて、特に一般会計では歳入44億3051万円、歳出が41億5715万円円で差引き2億7336万円となっています。昨年度は育樹祭関連経費、アキレス(株)の工場設置関連費、子育て支援の拡充費、学校給

食調理場改築事業の終了などで、歳入・歳出とも前年比6.6%減となっています。左表に示すように、実質公債費比率の低下、基金残高の増という傾向にあります。しかし、地方交付税依存の高い(48.3%)町財政ですので、今後も緊張感をもった運営に努めていく必要があります。

なお、決算特別委員会での各議員の質疑については、次ページから報告がありますので参照ください。



26.10.12 第38回全国育樹祭

平成26年度各会計決算提出議案 全議案全員賛成で認定

各会計決算状況 (円)			
議案番号	会計名	歳入決算額	歳出決算額
43号	一般会計	4,430,512,860	4,157,145,245
44号	国民健康保険特別会計(事業勘定)	104,843,560	103,399,646
	国民健康保険特別会計(直診勘定)	372,826,554	360,349,174
45号	介護保険特別会計	732,961,137	731,562,917
46号	後期高齢者医療特別会計	59,913,105	58,990,154
47号	農業集落排水事業特別会計	56,955,063	55,693,720
48号	公共下水道事業特別会計	136,791,216	129,969,278
49号	水道事業(収益的収支)	181,490,145	190,634,289
	水道事業(資本的収支)	0	267,876,375

会期日程

月日	会議名等	内容
9月8日	本会議	・一般質問、議案上程、説明など
	決算特別委員会	・委員長、副委員長の互選
9月9日	決算特別委員会	・決算審査意見、決算の説明
	議会活性化特別委員会	・議会報告会について
	議会広報常任委員会	・議会だよりについて
9月10日	議会全員協議会	・県と町による奨学金返還支援制度について
	各常任委員会	・総務文教、産業厚生常任委員会
9月11日	決算特別委員会	・決算内容の質疑
9月12日	休会	
9月13日	休会	
9月14日	議会全員協議会	・診療所のあり方、今後の方向性について
	決算特別委員会	・決算内容の質疑、採決
	本会議	・議案審議(8p参照)、採決
	議会運営委員会	・9月議会の総括について